

1. 計画期間

5 年間（令和 5 年 4 月～令和 1 0 年 3 月）

2. 対象区域

みやき町全域

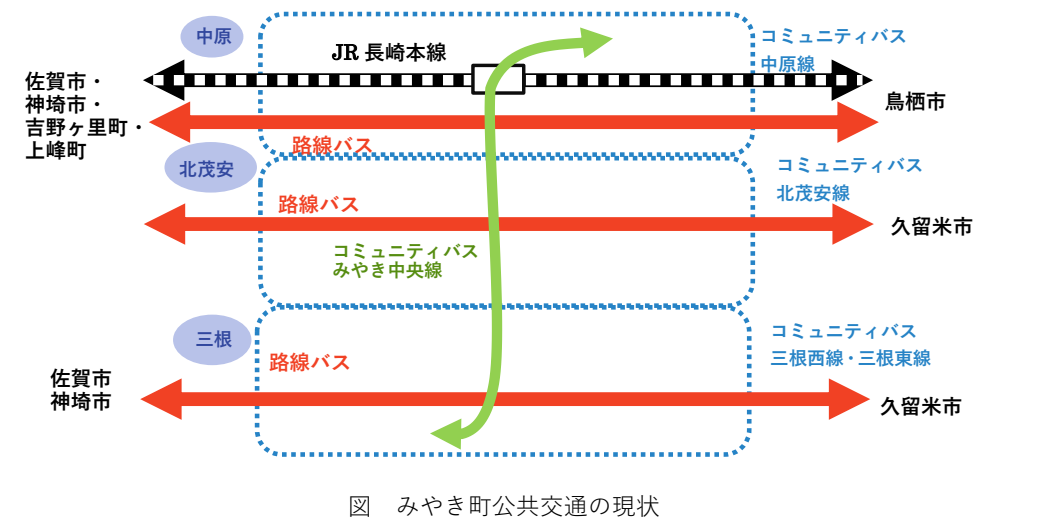
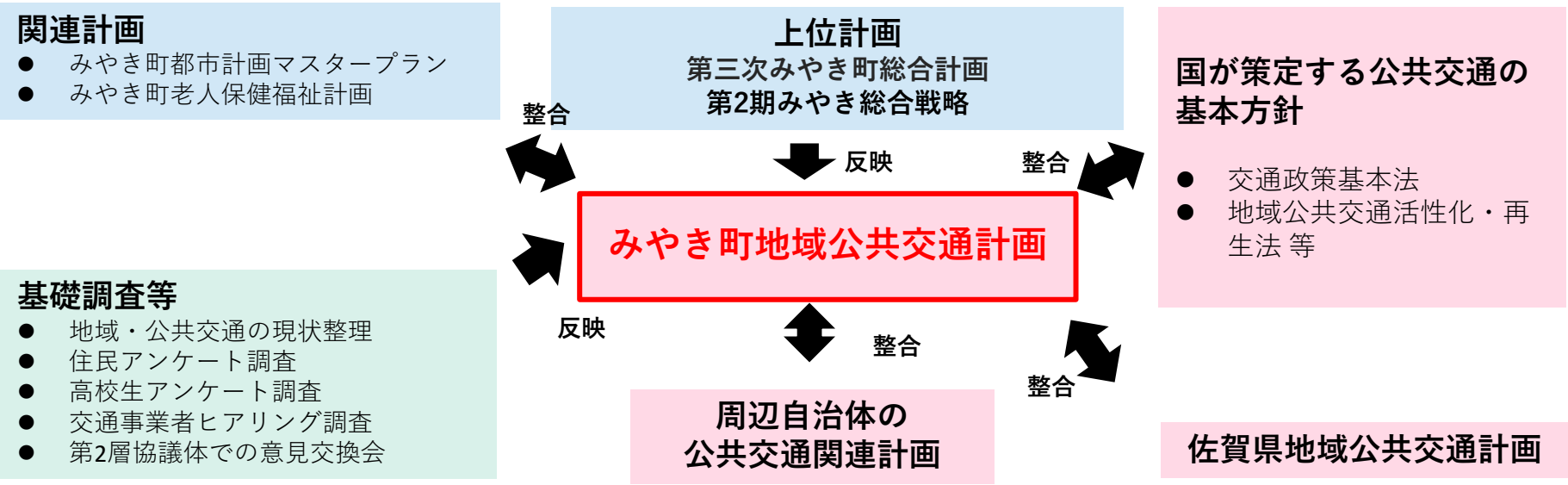


図 みやき町公共交通の現状

3. 計画の位置づけ

○上位計画となる町の総合計画を踏まえ、本町の地域公共交通政策のマスタープランとして策定
○県の公共交通計画や周辺自治体の地域公共交通計画とも整合を図りながら策定



4. みやき町における持続可能な地域公共交通の実現に向けた基本方針

(1) 利用者側の現状と課題

① 高齢者については、免許返納が困難な状況にあるとともに、バス停までが遠いため、公共交通を利用しにくい状況にある
② 高校生については、送迎への依存が高く、家族の送迎負担が大きい（学校までの送迎も多い）
③ 一般については、公共交通の利用はほとんどなく、マイカー利用からの転換は困難な状況

(2) 交通事業者側の現状と課題

① コミュニティバスの枝線は利用が低調
② 西鉄バスの利用は減少傾向
③ 通学支援バスは利用が増加傾向
④ タクシー助成は好調
⑤ バス・タクシーの運転士不足や運転士の高齢化が進行

(3) 自治体・社会の現状と課題

① 財政負担の増加、公共交通分野における自治体の役割増大、関連部署との連携の必要
② 持続可能な未来の形成（SDG s）、輸送資源の総動員、新しい生活様式の定着

みやき町公共交通の3つの役割

「健幸長寿」のまちづくりに寄与する公共交通
子育て支援のまちづくりに寄与する公共交通
住み続けたいまちづくりに寄与する公共交通

みやき町公共交通の3つの目標

ターゲット別の利用促進
公共交通ネットワークの見直し
関係者・地域全体の連携・協力による持続可能な公共交通の実現

基本方針：未来に躍動する「共感」「協働」のまちに寄与する公共交通

5.みやき町公共交通の将来像

- ・ 鉄道及び路線バスを地域間の幹線として位置づけ、維持していく
- ・ 南北軸を担うコミュニティバスみやき中央線を地域内の支線として位置付け、利便性の高い運行を継続する
- ・ 3校区の細やかな移動を担うデマンド型乗合タクシーにより、全町一体となった公共交通ネットワークの構築を目指す

6.実施事業と計画目標

目標	実施事業	事業概要	計画目標 【令和2年度実績値→令和9年度目標値】	時期	実施主体
1 ターゲット別の利用促進	①ターゲット別のニーズを基にテーマを定め、テーマをもとにした、公共交通利用促進策を実施	高齢者や子育て世代をターゲットとして、ターゲット別の移動目的やニーズに基づいたテーマを設定し、交流や町内地域資源発見等のテーマを定めた利用促進策の実施を検討する。	①公共交通利用者数＜年間＞（コミュニティバス及びコミバス転換後の公共交通） 【10,357人→10,357人】 ②利用促進事業の実施回数 【 - →5回】	前期	確保維持改善協議会 高齢者関係団体等
	②コミュニティバス体験試乗会の実施	高齢者をターゲットとして、買い物やグルメなどのテーマを決め、コミュニティバスの体験乗車を実施する。また、子どもやその親、高齢者を対象に、町で実施する講座やイベント等への参加に際し、コミュニティバスを利用するように促す。		前期	確保維持改善協議会 交通事業者
	③バスの乗り方教室や通学MM	子ども（小学生）や高齢者向けのバスの乗り方教室の実施や、中学生向けの通学に関するモビリティ・マネジメント（通学に使える公共交通の紹介や通学時の過ごし方、先輩の声などの情報提供）を実施する。		前期	確保維持改善協議会 交通事業者
2 公共交通ネットワークの見直し	①路線バス・JRの維持・確保	西鉄バスについて、路線維持を図るために利用促進等を沿線自治体と協議・調整しながら実施・検討する。JR長崎本線についても、通学・通勤利用による路線維持を図るために利用促進等を実施・検討する。	③コミュニティバス利用者1人当たりの財政負担額 【1,696円→1,700円】 ④中原駅利用者数＜1日平均＞ 【1,954人→2,500人】 ※R14年度 総合計画に記載	継続	確保維持改善協議会 交通事業者
	②地域内交通の維持・確保及び見直しによる利便性向上（中央線・枝線4路線の見直し）	コミュニティバスについて、中央線はルート・ダイヤの変更（短縮、パターンダイヤ等）、枝線（4路線）はデマンド型乗合タクシーへの転換を検討する。		前中期	確保維持改善協議会 交通事業者
	③公共交通情報のGTFS対応	公共交通情報について、GTFS対応を行い、Googleマップ等の経路探索サービスでみやき町の公共交通情報を表示できるようにする。		前中期	確保維持改善協議会 交通事業者
3 関係者・地域全体の連携・協力による持続可能な公共交通の実現	①地域全体で公共交通を支える機運づくり	公共交通に関するキャッチフレーズを掲げるなどし、公共交通を地域全体で支える、みんなで利用する、持続させるという機運を高めるための広報活動を行う。	⑤コミュニティバスの収支率 【5.6%→10.0%】	後期	確保維持改善協議会
	②公共交通の新しい財源・新しい事業スキームの研究	企業版ふるさと納税の募集・活用や車体広告等のスポンサーを募るなど、公共交通に対する様々な支援の可能性を探る。		後期	確保維持改善協議会
	③関連部署と連携した公共交通施策の展開	みやき町内の関係各部署（福祉、観光、教育等）との移動サービスに関する施策連携を図る。		前中期	確保維持改善協議会

